

提供日: 2007年9月5日

部局名: 琵琶湖環境部

所属名: 最終処分場特別対策室

担当者名: 卯田、千秋

内線: 3671

電話: 077-528-3671

メール: df0001@pref.shiga.lg.jp

アール・ディエンジニアリング最終処分場周縁地下水等調査結果について

栗東市小野の(株)アール・ディエンジニアリング最終処分場について、周辺環境への影響を把握するため、当該処分場の周縁地下水等モニタリング調査を行っているところですが、平成19年6月に実施しました調査の結果は、以下のとおりでしたのでお知らせします。

なお、モニタリング調査は、今後も継続していくこととしており、調査結果は、「RD最終処分場問題対策委員会」に報告し、地下水汚染対策等の必要な検討を行うこととしています。

1.調査日

平成19年6月19日(火曜日)

〔平成19年度周縁地下水等調査について〕

- 周縁地下水: 四半期毎に1回の計4回実施(今回1回目)
- 場内浸透水: 年1回(H19.9に実施予定)
- 浸出水処理施設: 四半期毎に1回の計4回実施(今回1回目)

2.調査実施者

滋賀県 琵琶湖環境部 最終処分場特別対策室

3.調査地点

[別添位置図参照\(PDF:78KB\)](#)

- 周縁地下水: 4地点(No.1、No.2、No.3、No.9)
- 浸出水処理施設: 1施設(処理原水および処理水について実施)

4.調査項目

- 周縁地下水: BOD等の一般項目の他、有害物質24項目
- 浸出水処理施設: BOD等の一般項目の他、有害物質9項目

5.調査結果

(1) 周縁地下水

[分析結果資料\(PDF:6KB\)](#)

- No.1井戸
シス-1,2-ジクロロエチレンが0.092mg/l検出され、廃棄物処理法に定める安定型最終処分場の周縁地下水の基準値(以下「周縁地下水の基準値」という。)(0.04mg/l)を超えていた。
また、ほう素は1.2mg/l検出され、地下水の環境基準値(1.0mg/l)を超えていた。
その他の項目については基準値を超えているものはなかった。
- No.2井戸
ひ素が0.011mg/l検出され、周縁地下水の基準値(0.01mg/l)を超えていた。
その他の項目については基準値を超えているものはなかった。
- No.3井戸
基準値を超えているものはなかった。
- No.9井戸
ほう素が1.2mg/l検出され、地下水の環境基準値(1.0mg/l)を超えていた。
その他の項目については基準値を超えているものはなかった。

(2) 浸出水処理施設

[分析結果資料\(PDF:4KB\)](#)

処理原水と処理水について調査を実施した。処理水の結果は、安定型最終処分場の浸透水の維持管理基準値を下回っていた。

【参考】栗東市調査結果との比較について

なお、7月の市調査結果では、上記のNo.1井戸でシス-1,2-ジクロロエチレンが0.073mg/l検出され、今回の県調査と同様に周縁地下水の基準値を超えていた。

これらの原因究明については、市と連携を図りながら、現在進めている処分場内の追加調査等の結果をRD最終処分場問題対策委員会に報告して、検討を行っていきます。

関連リンク

[最終処分場特別対策室](#)

[RD最終処分場問題対策委員会](#)

[RD最終処分場問題行政対応検証委員会](#)